

11月5日に山形駅前の霞城セントラル1階広場を会場に、山形県私学フェスティバルが開催されました。部活動のほかに高校生（YPF）や青年部の発表もあり、三者アピールで「私学の無償化」をめざすことが共有されました。

やまがた 私教連ニュース	書記局	2022.11.16
	山形市上町 1-9-17 TEL 023-645-5604 FAX 023-645-8470 y-shikyo@beige.plala.or.jp	第6号 (通算918号)



第45回山形県私学フェスティバル 開催！

11月5日（土）に山形駅側の山形霞城セントラル1Fにおいて私学フェスティバルが開催されました。今年のサブタイトルには「今こそ仲間と心をひとつに！～未来を創る子供たちの為に～」を掲げ、コロナ禍ではありましたが現地参加を目標に実施しました。
☞フェスの様子は、こちらのQRコードからご覧ください。

★現地参加者の増加！★

今回の成果は「すそ野が広がった！」ことにあります。本県では「コロナを中止の理由にしない」こと共通理解としてパンフレット参加・動画参加・現地参加を呼びかけ、途切れさせることなくフェスを開催してきました。3年目の今年は、現地参加の要請に応じてくれる単組と部活動が数多く現れ、会場はたくさんの生徒と保護者、そして教員で賑わいをみせました。

【現地参加】

- 九里学園高校 ダンス部
- 山形学院高校 FDC(フードデザインクラブ)
- 惺山高校 茶道部

【動画参加】

- 東海大山形高校 ダンス部・吹奏楽部
- 山形学院高校 ハンドベル部
- 惺山高校 ダンスドリル部



★市民の声を署名に★

会場ではたくさんの市民の方が、私学助成の署名に協力してくれました。担当したのは私学をそだてる会助成係の保護者。数日前から風船や看板作成を行い、当日は通行する一人ひとりに声をかけ趣旨を説明して下さいました。

★学びに自信を持ち、発信★

私フェスには部活で参加する生徒だけではなく、学校の枠を超えて参加する生徒自主活動（通称:YPF）のメンバー達もいます。今年は、ロシア・ウクライナ問題を学習テーマに取り上げ、そこで学んだ気づきを会場



いっぱいに発表してくれました。「学校に通えるのは当たり前のことではない」「教育は何よりも平等に与えられるべきものだ」との自信溢れるスピーチは大人に負けない理路整然とした内容であり、来賓だけでなく通行される方々からもたくさんの拍手を頂きました。
☞生徒・保護者・教員の三者アピールの様子



★外と繋がり生徒は育つ★

初めて外でお点前を披露しました。いつもと違う場所だったので緊張して幾つか間違っしまい、反省点の多いお点前だったと思います。ですが、どのお客さんも「美味しかった」「作法が綺麗だった」と言ってくれたのが嬉しかったです。色々な人にお点前を披露して「おもてなし」の意味が少し分かった気がします。また、頑張りたいです。今度は隣でやっていた署名のことも説明できるように参加したいと思いました。

上のコメントは、今回のフェスに参加した生徒の感想です。少しのきっかけでも、その生徒の成長に繋がります。内に籠らず、生徒が活躍する場をたくさん用意することが、教員の大切な役目なのだと感じます。

来年は、今年以上の現地参加がくることを期待しています。



各県の署名中間集約の報告を11月15日（火）までにお願ひします。